

佐渡金銀山の情報をお伝えします

佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter

「佐渡島の金山」の世界遺産登録決定を祝い 「御金荷の道ウォーク」を開催

これまでの歩みを振り返りつつ、長い道のりをつなぐ

越後・佐渡から江戸へ金を運んだ街道を歩く「御金荷の道」ウォークが、2024年10月5日(土)の新潟県佐渡市を皮切りに、新潟県上越市、長野県(上田市・東御市・小諸市)、東京都内(板橋区役所～TOKYO TORCH Park)の4地域をウォークで繋ぎ、11月30日(土)にゴールを迎えました。ウォークには関係団体や各地域から参加を募り、延べ360名の方に参加いただきました。



上越市(雁木通り)



長野県東御市(海野宿)



佐渡市(佐渡奉行所前)



東京都(森川宿追分)

北国街道

信濃

上野

中山道

武蔵

ゴール：東京都
(TOKYO TORCH Park)

Sado Gold and Silver Mine Newsletter 第28号 INDEX

- 2 ▶ イコモスによる評価結果及び勧告から世界遺産委員会での決議まで
- 3 ▶ 登録後の推進体制について他
- 4・5・ ▶ 世界遺産登録が決まった瞬間
- 6 ▶ 世界遺産登録の決定を受けて感じたこと
- 7 ▶ 「新ロゴマーク決定！」他
- 8 ▶ 「きらりうむ佐渡」からのご案内他





で の 決 議 ま で 勧 告 か ら 世 界 遺 産 委 員 会

イ コ モ ス に よ る 評 価 結 果 及 び

「佐渡島の金山」の 顕 著 な 普 遍 的 価 値

2024 年 6 月 6 日(木)に、世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスによる「佐渡島の金山」の評価結果及び勧告が通知されました。「世界遺産登録を考慮するに値する価値がある」ことが認められましたが、イコモス勧告は「記載」に次ぐ「情報照会」で、以下の3点の追加情報の提出が要請されました。



- ・江戸期より後の証拠が大部分を占める相川上町の北沢地区を資産範囲から除外し、資産範囲を修正すること。
- ・「相川鶴子金銀山」の緩衝地帯を沖合に拡張させること。
- ・鉱業権の所有者が、推薦資産又は緩衝地帯の範囲内において商業採掘を再開しないという明確な約束を示すこと。

「情報照会」とは、追加情報を提出して次回以降の世界遺産委員会で再度審査されるものですが、日本政府は 2024 年 7 月の世界遺産委員会で「記載」決議とすべく対応することを表明しました。その後、国及び県市で勧告内容の詳細な分析を行い、多くの方々の協力を得て、世界遺産委員会開催前にイコモスより要請のあった3点の対応を完了しました。

日本の対応を受け、7月27日(土)の世界遺産委員会での審議において、ブルガリアが提出国となった修正決議案(15か国の共同提出国)が、最終的に全会一致で「佐渡島の金山」の世界遺産登録が決議されました。

「佐渡島の金山」は、ユネスコが示す顕著な普遍的価値を示す評価基準(iv)に基づき、世界遺産の価値があると判断されました。

【顕著な普遍的価値】

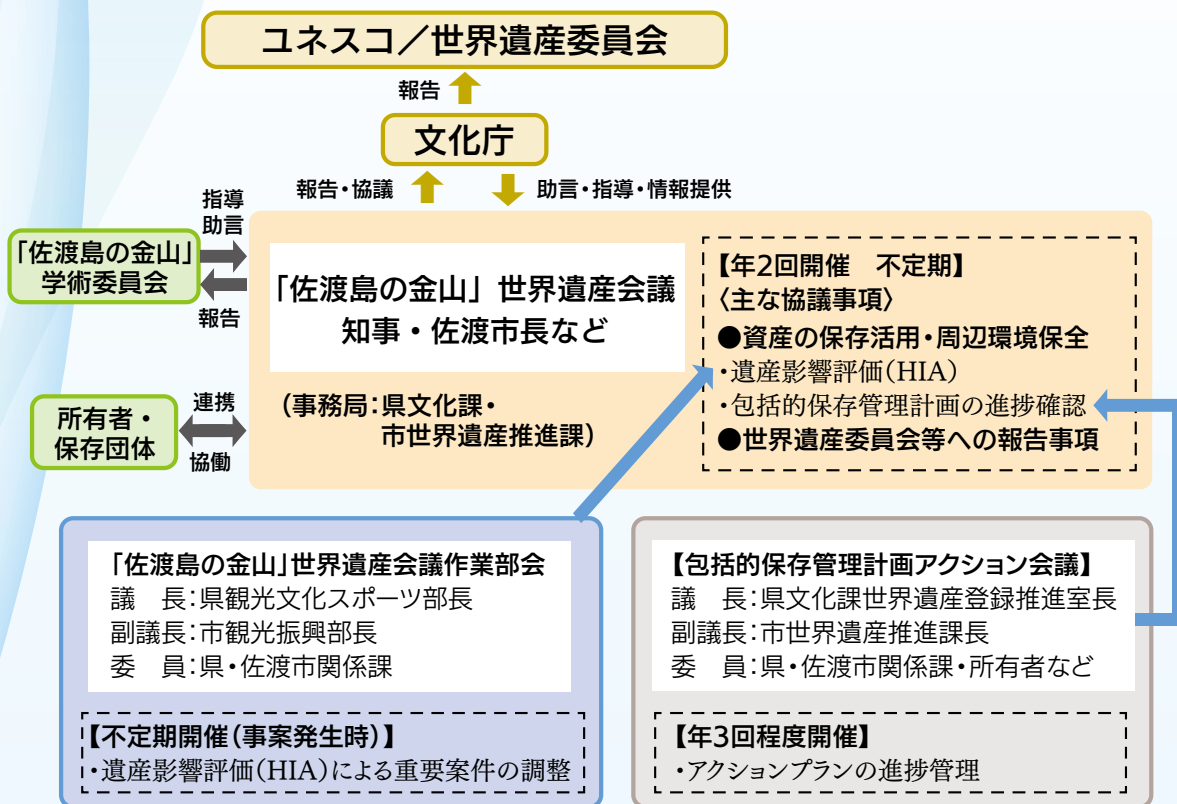
「佐渡島の金山」は、世界の他の地域において、採鉱等の機械化が進んだ時代に、高度な手工業による採鉱と製錬技術を継続したアジアにおける他に類をみない事例である。

- ・徳川幕府が佐渡で導入した手工業を効率化するための管理運営体制と社会・労働組織により、17世紀には世界水準の高品質の金を大量に生産することが可能となった。これは採掘域と集落構造に反映されている。

【参考】評価基準(iv)：歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。

登録後の推進体制について

世界の宝となった「佐渡島の金山」の保存管理や整備活用の推進、世界遺産委員会への提出が必要な報告事項などを協議するため、2024年12月1日(日)に「佐渡島の金山」世界遺産会議を設置しました。合わせて下部組織の「作業部会」と「包括的保存管理計画アクションプラン会議」を設置し、学識経験者や資産の所有者・保存団体と連携して取組を進めていきます。



構成資産の保全の取組について

佐渡市では、世界遺産「佐渡島の金山」の保全に向け、老朽化が進んでいる構成資産の修理、観光交流施設や公開町家旧深見家住宅の整備、現地案内サインの設置や見学イベントの開催等を実施しています。2024年11月16日(土)には、砂金採掘の関連遺構が良好に残る西三川砂金山(五社屋山)の特別公開を行い、参加者からは大変満足の声をいただきました。

今後も、修理が終了した構成資産については、順次公開を開始していくとともに、来訪者の受け入れ態勢の拡充の一環として現地散策コースの開発を進めてまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



世界遺産登録が 決まった瞬間

新潟会場：世界遺産登録の瞬間

新潟県 の様子

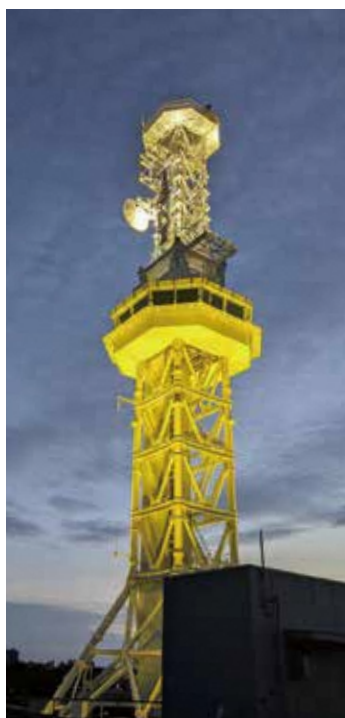
「佐渡島の金山」
世界遺産委員会
パブリックビュー
イングを
開催しました。



2024年7月27日(土)、インド・ニューデリーで開催された第46回ユネスコ世界遺産委員会の様子を見守るパブリックビューイングを、新潟（新潟日報メディアシップ）、佐渡（きらりうむ佐渡・佐渡市役所）、首都圏（東京新潟県人会館）の3会場で開催しました。

世界遺産登録後のスピーチでは、長年「佐渡島の金山」の世界遺産登録に取り組んできた民間団体一般社団法人佐渡を世界遺産にする会の中野洸会長をはじめ、多くの関係者が登録の喜びを語りました。

また、インド現地に赴いた花角知事・渡辺佐渡市長と日本の3会場をオンラインでつなぎ、登録の喜びを分かち合うとともに、改めてこの素晴らしい遺産を未来に継承するため、資産の保存・活用にしっかり取り組み、「佐渡島の金山」の価値や、佐渡・新潟の魅力を引き続き発信していくことを確認しました。



新潟市：TeNYテレビ新潟

県内各地で世界遺産登録の喜びに沸きました（ライトアップ）

2024年6月中旬～8月中旬にかけて「佐渡島の金山」の世界遺産委員会での審議を応援し、登録決定後はお祝いしようと、多くの企業・団体様の協力得て県内各地で「黄金色（こがねいろ）ライトアップ」を実施しました。

また、2024年7月31日(水)、佐渡地域振興局相川庁舎では職員による「金山」の巨大人文字を作り、登録を祝うとともに、島内外から応援してくださった多くの皆様への感謝を表現しました。



上越市：高田城三重櫓



佐渡市：佐渡地域振興局の人文字



【世界遺産委員会のパブリックビューイング】

「第46回世界遺産委員会」の当日は、佐渡島内でも委員会のライブ映像を、竣工後間もない佐渡市役所新庁舎2階の大会議室と、きらりうむ佐渡の講堂と中庭に設けた特設会場の3つの大スクリーンに映し出しました。審議日が直前まで確定せず情報が錯綜した一幕があったものの、当日は市民の方々を中心として合計約200名が集まり、議論の様子を見守りました。登録決定の瞬間には、来場者一同が立ち上がり、ライブ音声が届き消えるほどの歓声に包まれました。

【登録記念祝賀イベント】

登録を記念し、高任公園でのセレモニーを皮切りに、相川から江戸へ小判を運んだ「御金荷の道（金の道）」に関連の深い島内4地区にて、リレー形式で祝賀イベントを行いました。

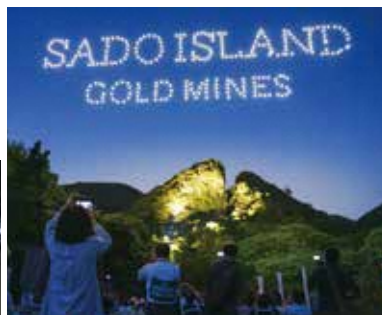
セレモニーでは、道遊の割戸をバックに鼓童の演奏が響き、「佐渡島の金山」をテーマとした壮大なドローンショーが催されました。

4地区でのイベントでは、参加者でまちを練り歩く行列のほか、伝統行事や民俗芸能が披露され、それぞれの地域らしさに溢れたイベントとなりました。参加者からは、「昔の賑わいを思い出す」、「喜びをみんなで共有できてうれしい」との声が聞かれました。

★イベント内容・ご協力いただいた方々

相川地区 8月1日(木)

- ・ダンス：佐渡は世界の宝島（地域の子どもたち）
- ・提灯行列
- ・おけさ流し（立浪会、七浦民謡研究会、海府民謡クラブ、BUNZO おけさ会、LOVE あいかわ・佐渡、杉山民友会、相川町商工会女性部、河崎民友会、なぎさ会）
- ・公演「金山節」（田村優子様、狩野泰一様）



鶴子地区 8月3日(土)

- ・マーチングパレード（河原田小学校）
- ・披露「鬼太鼓」（河原田諏訪神社氏子会）
- ・披露「豆まき」（西野豆まき保存会）
- ・披露「民謡：佐渡おけさ」等（なぎさ会）
- ・ダンス：佐渡は世界の宝島



西三川地区 8月3日(土)

- ・披露「民謡：金山音頭、佐渡おけさ」（芳延会、華月湖清美会）
- ・砂金音頭
- ・公演「篠笛演奏」等（狩野泰一様、田村優子様）
- ・盆踊り：金山音頭、佐渡おけさ



小木地区 8月4日(日)

- ・提灯行列、パレード（鼓鈴の会、稲荷町小獅子舞保存会）
- ・披露「小獅子舞」（稲荷町小獅子舞保存会）
- ・小木おけさ（小木おけさ子ども連）



*披露、公演と記したものの以外は、一般参加者も参加

佐渡島内の様子



世界遺産登録の決定を受けて感じたこと。



地域の宝として守ってきた西三川砂金山の価値を世界的に認めて頂きありがとうございます。

後世へしっかりと引継ぐよう集落全体で保全に取り組んで行こうと考えています。

笹川の景観を守る会 会長
金子 一雄



伝統的手工業によって完成した『佐渡島の金山』、さらに島に広がる金銀山遺跡

や人々の生活・文化は島の自然や大地と深く関わり一体化している。日本の縮図ともいわれ、今もその原風景が残るこの島に誇りを持ち、来訪者に楽しく、解りやすく紹介していきたい。

佐渡を世界遺産にする会 副会長
渡邊 剛忠



令和元年に自民党本部前で佐渡物産展を開催しました。新潟県知事、佐渡市長、国会議員

の皆さまや一般の多くの方々が参加しました。何度も見送られた佐渡金銀山が国内候補として関係者から認められ、明るい兆しを感じた。多くの皆様の協力により世界遺産登録が実現したと実感している。

佐渡を世界遺産にする首都圏の会 会長
山本 顕男



「佐渡島の金山」の知名度を高めようと、会として各種イベントに取り組んできました。

会員みんなでかいた汗が、登録実現に少しは貢献できたのではないかと喜んでいます。

佐渡を世界遺産にする新潟の会 会長
池田 哲夫



10月に鶴子銀山で行われた草刈りに参加しました。世界遺産登録後ということもあり、佐渡の景観

をより綺麗に保とうと考え直すことができたとても良い機会となりました。

鶴子銀山へ続く道を歩こう 計良 由貴奈



400年の歴史ある佐渡金山が、世界に認められてとてもうれしかったです。相

川の他の魅力も知ってもらいたかったので、手作りマップを作り、きらうむ佐渡で観光客の皆さんに渡しました。ぼくのおすすめの大間港に行きたいと言ってもらえてうれしかったです。これからも相川魅力を伝え、大切にしていきたいです。

佐渡市立相川小学校 6年
篠原 涼太



世界遺産登録記念の鼓笛パレードは、とても暑くて大変

だったけど、一緒に演奏している友達や見守ってくれている地域の皆さんのおかげで、最後までがんばることができました。これからも、佐渡金山のよさを、世界中のたくさんの人達に知ってほしいです。

佐渡市立河原田小学校 6年
計良 天舞



金井小学校のあいさつが佐渡金銀山の世界遺産登録を後押ししたということで、渡辺市長から表彰状をいただきました。これか

らも佐渡や金銀山がたくさんの人でにぎわい続けてほしいです。

佐渡市立金井小学校 6年 井出 千森



ぼくは、西三川の生き物を調べています。虫だけでも200種類は見つけました。

佐渡金銀山が世界遺産になり、砂金の採れる西三川にも多くの人を訪れると思います。その時には、西三川の自然と生き物にも注目してみてください。

佐渡市立真野小学校 5年
高柳 慶大



十月に金の道を歩く遠足がありました。当時のように金の模型を持って十キロの道を歩きました。

佐渡から遠い江戸まで金を運ぶのは、佐渡金山の金がとても重要だったからだと感じました。

佐渡市立小木小学校 6年
奥山 晃羽

世界遺産一覧表 記載認定書の お披露目会

ユネスコから世界遺産に登録されたことを証する「世界遺産一覧表記載認定書（複製）」が交付され、2025年1月18日(土)に「きらりうむ佐渡」でお披露目会を開催しました。お披露目会には、渡辺竜



「世界遺産一覧表記載認定書（複製）」
お披露目会

五佐渡市長、一般社団法人佐渡を世界遺産にする会中野沨会長、佐渡市議会議員連盟 室岡啓史会長、市民約20名が出席し、認定書を前に世界遺産登録の喜びを改めてかみしました。また、2024年10月9日(水)に「佐渡島の金山」の世界遺産登録を記念して、錦鯉の発祥地小千谷市より、「山吹黄金」「プラチナ黄金」計25尾が佐渡市に寄贈されました。寄贈された錦鯉は「きらりうむ佐渡」「佐渡市役所」において展示され、来訪者や市民の目を楽しめています。

「佐渡島の金山」の世界遺産登録を契機に自治体間で連携した情報発信に取り組むなど、新潟県内各地で観光の広域連携を活性化する動きが見られるようになりました。

錦鯉の展示
(きらりうむ佐渡)



世界遺産 メタバース

江戸時代の「佐渡島の金山」を メタバースで公開！

400年前の絵巻物などの歴史資料から江戸時代の佐渡を面白おかしく再現した、新たな魅力発信コンテンツです。

江戸時代へタイムスリップしたかのような体験を通じ、佐渡の歴史文化に興味を持ってもらうことで、さらに多くの方々に佐渡のファンになっていただきたいと思います。

YouTubeなどでお馴染みの「投げ銭」機能もあり、皆さまより投げ銭いただくことで、佐渡の文化財の保存・活用の取組みを応援いただくこともできます。

市民の皆さまからも応援いただくとともに、市外の方へも宣伝いただきたく、よろしくお願いいたします。

江戸時代の佐渡へ
タイムスリップは
こちらから→



地域学習の取組み

あいかわこども園

相川地区の「あいかわこども園」では、子どもたちの普段の遊びやお散歩にも、相川らしさがあふれています。鉱山での採掘や地域の祭りなどを模した「ごっこ遊び」、地域の昔ながらのお菓子屋さん訪問など、日常の過ごし方に相川の歴史や文化がさりげなく盛り込まれています。

保護者の方々を招いたハッピーステージでは、ねこのキャラクター「にゃんじー」になった子どもたちが金山や町の中を冒険するストーリーで、元気いっぱいにホールを駆け巡りました。



世界遺産「佐渡島の金山」の新ロゴマーク決定！

世界遺産登録を受け、新たなロゴマークが決定しました。

全国各地から寄せられた107応募作品の中から、東京都在住のグラフィックデザイナー・占部博士(うらべ・ひろし)氏の作品が選ばれました。「佐渡島の金山」関連団体等による1次審査後、2次(最終)審査は、佐渡市公式LINE登録者による投票で、合計2,414票の投票がありました。

この新たなロゴマークは、世界遺産となった「佐渡島の金山」の価値を将来にわたり保存、継承していく活動を、今後も官民協働で取り組んでいくためのシンボルとして選定したものです。ぜひ、市民の皆様方も広くご活用ください。

いままで
ありがとう



佐渡を世界遺産に
旧ロゴマークは、2007年の制定以来17年間の長きにわたり活躍しました。



コンセプト：佐渡金銀山のシンボル「道遊の割戸」と佐渡島のシルエットがモチーフ。金色にあしらった円形の背景は地球や大地などを連想させ、道遊の割戸のシルエットを浮かび上がらせる。日本が世界に誇る「佐渡島の金山」を金色の輝きでアピールする。

◆佐渡金銀山ガイドンス施設「きらりうむ佐渡」からのご案内

「佐渡島の金山」の世界遺産登録を受け、「きらりうむ佐渡」展示室内に世界遺産の価値や構成資産の概要を紹介した展示グラフィックを追加しました。

併せて、展示室見学後は「きらりうむ佐渡」を拠点に「鉱山まち相川」の散策等をお楽しみいただくため、佐渡金銀山の関連文化財50箇所のスポットを紹介した現地情報サイネージを展示室内に設置しました。このサイネージでは、イラストマップで表示されたスポットをタッチすると、そのスポットの解説が表示されるほか、江戸時代の鉱山町を再現したCGアニメーション動画を楽しむことができます。また、テーマに合わせた「おすすめコース」や「最新のイベント情報」を確認することができます。

ぜひ、この機会に、「きらりうむ佐渡」を拠点にまち歩きをお楽しみいただきながら、世界遺産となった「佐渡島の金山」の歴史を辿ってみませんか。



現地情報サイネージイメージ画像

出前授業・出張説明のご案内



新潟県や佐渡市の担当職員等が学校や地域に伺い、佐渡金銀山や世界遺産について分かりやすく解説します。「佐渡島の金山」について、一緒に学んでみませんか？世界遺産登録となった今だからこそ！ぜひご利用ください。

＊お問い合わせ・お申し込み先

(実施希望日の2週間前までにお申し込みください)

【佐渡市内での開催】佐渡市観光振興部世界遺産推進課

【佐渡市以外での開催】新潟県観光文化スポーツ部文化課



佐渡金銀山の保存・活用のためのご支援をお願いします！

佐渡市では、世界に誇る貴重な文化遺産である佐渡金銀山を守り、伝え、活かすために「世界遺産推進基金」を設けています。佐渡の宝を未来につなぐため、ご理解とご支援をお願いします。

◆世界遺産推進基金で次のような事業に取り組めます。

- 守り伝える ・ 佐渡金銀山遺跡を保存・活用する取り組み・遺跡の周辺環境を守る取り組み
- 価値を証明する ・ 鉱山絵巻など、価値を補完する資料の収集・各種調査・研究の支援

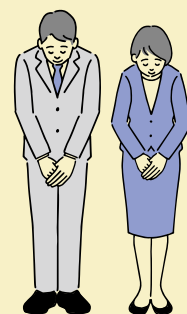
◆2025年度寄附者の紹介（2024年3月～2025年2月末）

ISLAND MIRRORGEプロジェクト様、(株)川内自動車ケイバツカ佐渡店様、(株)伊藤園様、(株)DI Palette様
田村優子様、新潟県信用組合様、尾畑酒造(株)様、リサイクルショップ代昇屋様
山本美幸様、YAMATO様、(株)ブルボン様、キリンビール株式会社様
新潟県・佐渡市職員有志一同様、佐渡を世界遺産にする首都圏の会様
ニッポン放送プロジェクト様、坂井秀弥様
佐渡市世界遺産ホームページで贈呈式の様子などを紹介しています！

◆ふるさと納税でも応援できます！＊島外の皆様限定

佐渡ふるさと島づくり寄付金（ふるさと納税）「世界文化遺産「佐渡島の金山」応援コース」でも受け付けています。

※世界遺産登録を受け、「世界遺産推進基金」は、2025年4月以降に名称を「世界遺産基金」へ変更して継続します。
詳細は佐渡市ホームページ等でお知らせします。



新潟県・佐渡市



2025年3月31日発行

新潟県文化課HP 佐渡市世界遺産推進課HP

新潟県観光文化スポーツ部文化課世界遺産登録推進室（2025年4月より世界遺産室）

TEL:025-280-5726 E-mail:ngt150030@pref.niigata.lg.jp

佐渡市観光振興部世界遺産推進課（2025年4月より観光文化スポーツ部世界遺産課）

TEL:0259-63-5136 E-mail:k-goldmine@city.sado.niigata.jp